

としょかん生活



ホームページ

2026
(令和8年)9・10
月

●編集・発行／佐用町立図書館 開館時間：午前10時～午後6時
すべての町民の暮らしを応援します 〒679-5301 佐用郡佐用町佐用 2585 番地（さよう文化情報センター内）
Tel：0790-82-0874 Fax：0790-82-0313 E-Mail：toshokantown.sayo.lg.jp

『生命科学者、定年後に畑にハマる 実践・知的菜産の技術』

仲野 徹／(幻冬舎) 2026年

Book Review

司書おすすめの一冊

本書は、定年退職後に野菜づくりにハマった生命科学者が、『知的菜産の技術』というタイトルで20回にわたりウェブ連載したエッセイをまとめたものである。

もともと野菜好きではなかった著者だが、心の師匠とする英文学者のまねをして自宅裏60坪の農地で家庭菜園を始める。知識も経験もゼロ、周囲に尋ねる人もいないためすべて独学、10冊以上の本を読み比べ、ネットも使いながらの手探りだった。

どの本にも「まずは土づくり」「堆肥が大事」とあるが、当初は土づくりという概念すらなく、堆肥の存在も知らなかったという。石灰をまいても思うようにいかなかったり、ふたばが顔を出した時には声をあげて喜んだり、植物を育てる過程で人材育成について考えてみたりと、経験することすべてが初めてのことばかり。家庭菜園は「新鮮な驚きと学びに満ちた知的活動」で、何をどこに植えいつ作業をするかなどを考えるのは「パズルを解くように楽しい」という。

大阪弁を交えた軽妙な語り口からは、試行錯誤しながら野菜づくりを満喫する様子が伝わり思わず笑みがこぼれる。著者が育てた野菜は55種類にのぼり、実際に作ってみてわかったことや豆知識なども詳しく書いてある。収穫した野菜のおいしさはもちろん、新しいことを学ぶワクワク感が伝わってきて何か始めたくなる1冊。（尾崎）

シリーズ図書館探検④

「相互貸借（そうごたいしゃく）」



佐用町立図書館には13万冊以上の蔵書があります。（令和8年3月調べ）

膨大な冊数ですが、利用者さんが必要とする本のすべてが揃っているわけではありません。お探しの本が図書館になれば、「リクエスト（購入希望を提出する）」、または「相互貸借」として用意します。相互貸借とは、品切れや絶版、または高価、専門的過ぎる、などの理由から購入できない本を他の図書館から取り寄せ、提供するサービスです。

佐用町立図書館で相互貸借をする場合、まず兵庫県立図書館で資料を探します。県立図書館になれば西播磨地域、兵庫県全体の図書館、と探す範囲を広げます。県内にお探しの本がなければ、日本中の図書館を探して取り寄せます。

依頼があれば佐用町立図書館の本も全国の図書館に貸し出されます。

図書館同士協力しあい、求める人の元へ本を届けます。



図書館カレンダー

9月 長月 ■は休館です

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月 神無月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

絵本

『三びきのくま』

レフ＝トルストイ／さく
レーベデフ／え
うちだ りさこ／やく
(偕成社)1989年

森でまいごになった女の子は、いっけんの家を見つけました。その家には三びきのくまが住んでいましたが、ちょうど散歩に出かけて留守でした。中に入ってみるとテーブルの上には、おじやの入ったちゃわんとおさじが三つずつ置いてありました。女の子は大きなくまの大きなちゃわんからおじやを少し食べ、中ぐらいのからも小さいのからも食べてみました。小さい青いちゃわんのおじやが気に入った女の子は、それを全部食べてしまいました。また、椅子に座ってみたり、ベッドに寝てみたりしたあげく、一番ぽったりだった小さなベッドで眠りこんでしまいました。

一方、帰ってきたくまたちは家の中をみてうなりました。おじやは食べられ、椅子はこわされ、ベッドはしわくちゃでした。くまたちはベッドで寝ている女の子を見つけ、つかまえようとしますが、女の子はあいていた窓から逃げていきました。

やわらかい色調で写実的に描かれた絵からロシアの深い森や野性味あふれる熊たちの様子がよく伝わってきます。また、「大きな」「中ぐらい」「小さな」の繰り返しは耳にここちよく、熊たちの言葉がそれぞれの大きさにあわせ大中小と表されているのも楽しいです。読んであげるなら4歳くらいから。(蔭木)

児童書

『ギリシア神話』

石井 桃子／編・訳
富山 妙子／画
(のら書店) 2000年

昔、タイタン族という荒々しい巨人の一族が、仲間同士や神々の父ゼウスと争いを繰り返していた。神々に味方したタイタン族の一人、聡明なプロメテウスの助けもあり、

敗れたタイタン族は地の果てに閉じ込められ、地上には平和が訪れる。ゼウスは人間も滅ぼそうと考えるが、人間を大地の土と水で創り可愛がっていたプロメテウスの願いで思いとどまった。その後、プロメテウスは弱い人間のためにゼウスの赤い火の花を盗んで与えたことで、人間は大きく発展した。怒ったゼウスは罰として、プロメテウスをコーカサス山脈の大岩に鎖で縛り付ける。ここではハゲタカに肝臓を食いちぎられるという過酷な苦しみは毎日続くが、肝臓は何度でも再生するためその苦痛は終わることがないように思われた。しかし後に、ゼウスの危機を救ったことで、プロメテウスは自由の身となった。(「プロメテウスの火」)

いつも人々を見守り、心を支えてくれる存在であった神々と、この世界のあらゆる現象に意味を見出し、神々の物語として語り継がれてきたギリシア神話の魅力が溢れている。他にも、死の国の王ハデスに娘のペルセポネを連れ去られた女神デメテルの「デメテルとペルセポネ」、ギリシアの人々に愛された英雄ヘラクレスの冒険譚「ヘラクレスの十二のぼうけん」など全24編を収録。中学生ぐらいから。(松本)

●秋の読書会 本で交流しませんか。

事前に対象の本を読み、感想や意見を自由に話す会です。

日時:9月19日(土) 10:30~12:00

参加費:無料(要申込) 申込期限:9月16日(水)

窓口かお電話でお申込みください。

対象図書:『高瀬庄左衛門御留書』
たかせしょうざ えもんおとどめがき

砂原 浩太郎／著 講談社

●特別館内整理と特別貸出

休館:10月12日(月)~23日(金)

特別貸出期間:9月29日(火)~10月11日(日)

貸出冊数…上限なし 貸出期間…3週間

読書週間にちなみ「図書館まつり」を開催します!

詳しくは別紙イベント一覧をごらんください。



おはなし会

★あそびせ隊おはなし会

- ・幼児・小学生と保護者
- ・毎週土曜日/14:00~14:30

★えほんの会(2~4歳と保護者)

- ・毎週日曜日/10:30~11:00
- 9月のえほん
- 『ねてるのだあれ』ほか

★おはなし会(5歳~小学生)

- ・毎週日曜日/11:00~11:30
- 9月のおはなし
- 「腰折れすずめ」ほか

場 所:おはなしコーナー

申 込:不要

